

株式会社ジェイコム東京 八王子・日野局  
放送番組審議会（八王子） 議事録

令和元年度（2019 度）株式会社ジェイコム東京 八王子・日野局 放送番組審議会委員会（八王子）は、2020 年 3 月 9 日（月）株式会社ジェイコム東京 八王子・日野局 第一会議室で開催された。

放送番組審議会委員：（順不同）

細谷 幸男 様  
鎌田 正純 様  
相原 悦夫 様  
清水 栄 様  
中正 由紀 様

株式会社ジェイコム東京 八王子・日野局

海老澤 孝一（局長）  
菅原 幸子（地域プロデューサー）  
林 真菜（販売促進担当）

株式会社ジェイコム東京 地域コミュニケーション統括部

平松 大典（広告グループ グループ長）  
甲把 美和子（制作グループ 多摩事務所 チーム長）  
櫻井 芳子（制作グループ 多摩事務所 地域アナウンサー）

事業者側から J:COM チャンネル（11ch）と J:COM テレビ（10ch）について報告があった。

【質疑応答・意見交換】 進行：細谷会長

■今後の JCOM チャンネルについて

【委員】

年間の編成を見て、多様な種類の番組を放送していると思った。「八王子人図鑑」は日野でも放送してほしいと思っていた。商工会議所アワーも定着し動かしたい番組となっている。  
更に新しい方法も構築して、2020 年も地域メディアとして大きな役割を担ってほしい。これからも民放に負けない地元密着した番組を作ってほしい。

【事業者】

昨年、ジェイコム東京として都内のジェイコムグループが統合した際、お客様の中には不安の声をあげられた方もいた。しかし J:COM の信条である「地域密着」はさらに追及し、他社との差別化もはかりたい。

#### ■ 放送内容について

【委員】

現在はイベント当日に取材・イベント後に放送が多いだが、集客のため、事前取材し放送で開催告知することはできないか。ユーロードのイベントも宣伝してほしい。

【事業者】

視聴者からも同様に「事前に知っていたらイベントに行きたかった」とのご意見も頂いている。これまでも花火大会や学園祭等の告知実績があるが、今後はイベントの集客の手伝いとして事前取材・開催告知も強化していきたい。

【委員】

各大学で地域密着の活動をしているので拾ってほしい。

また各新聞社での多摩地域の情報の扱いが減っていると感じている。そうした中、、J:COM では引き続き地域密着の情報を流してほしい。

【事業者】

地域に特化した放送のひとつに災害情報があるが、避難所情報等は、現地にいないとわからないリアルタイムの情報・内容もあるので、視聴者から提供された情報をテレビで流す・共有することも今後実施していきたいと考えている。

【委員】

その場合、肖像権は問題ないのか。また、情報の信ぴょう性の問題はクリア出来るのか？

【事業者】

肖像権については、モザイク処理等の対応が必要になると考える

情報の信ぴょう性は重要と考える、不特定多数の市民からの提供ではなく専任の方を募り研修をする必要があると考えている。

【委員】

SNS を見ていると「J:COM に取材してもらったから見て」という投稿を良く見かけるようになった市民との互換性もとれてきていると思う。能動的に情報発信をする文化も浸透してきていると思う。

## ■番組テーマについて

### 【委員】

デイリーニュースは毎日チェックしている。八王子の歴史や魅力をもっと視聴者に知ってもらえるような番組を作ってほしい。

### 【委員】

八王子といえば高尾山、となりがちだが、歴史という視点からも番組制作をして、今までとは違った魅力を伝えてほしい。普段は入れない庭園や寺社なども八王子の魅力のひとつと考える。を撮影し放送する等。そういった庭園や寺社が結構たくさんある。

### 【事業者】

地元にある神社・仏閣を紹介する番組は良いと考える。日野では散策番組の「ひのぶらり道」を放送しており、人気がある

### 【委員】

商工会議所アワーも商工関連の情報だけでなく、魅力発信の目的から、地元の隠れたスポットを紹介する内容を制作していた。復活できないか検討していきたい。

## ■災害情報について

### 【委員】

学生から災害情報に関し、「避難所を字幕ではなく地図で出せないか」との意見があった。学生の中には上京してきた人も多く、地名だけを文字で見ても場所が分からない、大型台風の際には、自治体のホームページが繋がりにくい状況もあったため、コミュニティチャンネルで補完するという意味でも工夫して取り組んでほしい。

### 【委員】

ハザードマップを利用することも検討して欲しい。

### 【事業者】

市と連携した情報の発信は、行政内部の調整も必要なため、発信するまでに時間がかかる場合もある。先ほどの避難所情報の事も含めて内容を見直したい。

## ■多言語化について

### 【委員】

西放射線ユーロードには外国人のお客様が多い。英語圏以外の方もいる。

市はフリーペーパーの作成等で対応してきているが、J:COM は多言語化への対策をとっているのか。また、オリンピック開催時はどういった対応をする予定なのか。

これから外国人労働者も増えていくので、そういった人も地域に馴染んでいけるような対策をとってほしい。

### 【事業者】

実際の対応策は見出せていないのが現状。視聴者の中にどれだけ外国の方がいるのかはわからない。ニーズにどう対応するか考えていかなければいけないと考えている

大型台風襲来の際に活用した AI（人工知能）アナウンサーは 23 か国語に変換も可能。新しい技術も活用していきたい。

以上